

# 「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2015年6月6日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(福島、中井先生)/(午前のみ) エコウイング会員/ 4名(午後5名) 計 7名

## ● 午前

今日は、朝から曇りがちの天気の日でした。いつものように、朝9時に公園の会議室に集まりましたが、明石高専の学生さんたちは試験中のため参加できず、市民自然図鑑の昆虫の案内人の先生2名を含めて6名のメンバーで、少々寂しい活動になりました。

午前中は、公園内のコースを巡って「あかし市民自然図鑑／昆虫編」の本調査の観察をしました。時おり薄日は差すものの、すっきりとした晴天にならず、あまり多くの昆虫は確認できませんでした。それでもチョウやガ、トンボ、ハチ、バッタなどのなかまが色々と姿を見せてくれました。

昆虫ではありませんが、ススキの葉に巣を作ったカバキコマチグモや本当に「ごみ」にしか見えないゴミグモなど、ユニークなクモのなかまも観察できました。観察の最後には、シマヘビまで姿を見せました。

## ● 午後

午後は、公園入口付近の水路に侵入している外来種の水生植物の「オオフサモ」や「アマゾンチカガミ」の除去作業の取り組みました。また、水路下流に生き残っている「カンガレイ」を、上流のロータリー横の池に移植する作業もしました。

昆虫観察の様子



外来種の水生植物の除去作業(その1)



外来種の水生植物の除去作業(その2)



カンガレイの移植作業



外来水生植物「オオフサモ」



外来水生植物「アマゾンチカガミ」



● 次回の活動は、7月4日(土)の朝9時から、午前中は市民自然図鑑の昆虫観察、午後は里山整備活動の予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

## MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。チョウやトンボのなかまがあまり多く見られなかったものの、色々とユニークな昆虫たちが観察できました。

コシアキトンボ(メス)



キノカワガ



コガネムシ



シオカラトンボ(オス)



ゾウムシのなかま



チャコガネのなかま



ウスキツバメエダシャク



ヒメバチのなかま



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ホシミスジ



ヨツボシホソバ(オス)



ヨツボシホソバ(メス)



ルリタテハ(翅の裏)



ナミアゲハ



ミズイロオナガシジミ



ガのなかま



ヒシバツタのなかま



コムラサキ



チャタテムシのなかまの幼虫



マエジロアシナガヤセバエ



コヤガのなかまの幼虫



ヒカゲチョウ



ナミテントウ



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

エントツドロバチの巣



ススキの巣のカバキコマチグモのペア



ゴミグモ



その他の生き物では、シマヘビやカナヘビ、カタツムリやリクガイのなかまも観察しました。また野鳥では、キビタキが美しい姿を見せてくれました。野鳥は巣立ちの季節になり、色々な幼鳥が確認され、中には親鳥が餌を与える姿も観察できました。

シマヘビ



カナヘビ



カタツムリ



リクガイのなかま



美しいキビタキの姿



メジロ



ムクドリ親子



スズメの幼鳥



ホオジロの幼鳥

